

【松が谷男子テニス部活動報告 2023年9～10月号】

体験入部は随時受け付けています。男子顧問根本まで、お気軽にご連絡ください。

第62回東京都高等学校新人テニス選手権大会(個人)

シングルス：9/10,17,24～ ダブルス：9/18,23～

シングルス 予選決勝進出 前川琉真

前川琉真 4R064東京成徳 5R×16日大鶴ヶ丘

小座間歩 4R×16かえつ有明 鈴木柊真 4R×26神代 山村明輝 4R×26日大三

ダブルス 予選決勝進出 前川琉真・茶山颯斗

前川・茶山 4R062巣鴨 5R×06駒場

小座間・鈴木 3R×16日大鶴ヶ丘

先輩の本選出場、審判、コート提供のポイントが加算され、今回は出場枠を16(S8D8)に増やすことができました。ただ、全員出場することはできません。部内戦の結果を尊重しつつ、合宿での1年生の成長を見て、できるだけ1年生にも公式戦の試合経験をさせたいと悩みながらのメンバー決定でした。

シングルス出場メンバーの半分は初日の試合が文化祭2日目とかぶります。文化祭クラス準備の合間に時間を確保し、ラケットを握らない日を作らないように練習していました。

結果、本選出場には及ばず、壁に阻まれました。常に上を見て練習する意識と、実現するための地道な努力は他人の言葉では作れません。自分の中で何かを変えられるかどうかが問われていると思います。

10/22 新人個人戦準決勝・決勝の審判(SCU)を行いました。

松が谷の関東大会審判経験者2名が、準決勝8ゲームプロセットマッチ、決勝3セットマッチの審判を担当しました。観客からも注目され、プレーヤーとは違う集中力が必要となります。日差しの強い中、長時間にわたり審判台で試合をコントロールするために、審判は観客にも聞こえるように大きな声でわかりやすいコールをするだけでなく、集中と息抜きをうまく切り替える自己調整力が必要です。それを大舞台で実践できる生徒は多くないと思います。

【10月練習報告】

10/1 狩谷大樹コーチ講習会 *インターハイ優勝 明治安田生命日本リーグ出場

試合で結果を残しているプレーヤーからの言葉は説得力があります。松が谷の生徒の力を見極めてから選手に合ったアドバイス、練習メニューを提案していただきました。選手の目線に立った指導の姿勢がとてもありがたく、今後もスポット的に強化指導をお願いしたいと思いました。

10/8 練習試合(城東)

10/22 練習試合(西・国立)